

2023年スギ花粉飛散数

期間	飛散数	累積花粉数	コメント
1月4日	0	0	
1月5日	0	0	
1月6日	0	0	
1月7日	0	0	
1月8日	0	0	
1月9日	0	0	
1月10日	0	0	
1月11日	0	0	
1月12日	0	0	
1月13日	2	0	初観測日 最高気温が高い日が続いたため早い初観測になりました。
1月14日	4	0	
1月15日	0	0	
1月16日	2	0	
1月17日	0	0	
1月18日	0	0	
1月19日	2	0	少しずつ飛散していますので、発症し医療機関を受診する患者さんが増えて来ました。
1月20日	2	0	
1月21日	0	0	
1月22日	0	0	
1月23日	0	0	
1月24日	4	0	
1月25日	5	0	今週の寒波が過ぎた来週半ばから飛散が増えるでしょう。
1月26日	0	0	
1月27日	1	0	
1月28日	1	0	
1月29日	0	0	
1月30日	0	0	
1月31日	2	0	
2月1日	3	0	
2月2日	0	0	2月10日ごろから最高気温が上がります。本格的な飛散が始まるかもしれません。
2月3日	0	0	大田教授が取材を受けました。(Youtubeへ飛びます。)
2月4日	7	0	
2月5日	7	0	
2月6日	3	0	
2月7日	5	0	
2月8日	9	0	この5日間は少量ですが毎日スギ花粉やハンノキの花粉が飛散しています。症状が早く出る方や重症化する方は治療を開始しましょう。
2月9日	3	0	
2月10日	7	0	
2月11日	6	0	
2月12日	3	0	東京では飛散開始となりました。
2月13日	3	0	
2月14日	3	0	
2月15日	1	0	毎日少量ですが続けて飛散していますので、1週間以内には本格的に飛散が開始すると思われます。
2月16日	4	0	
2月17日	10	0	
2月18日	5	0	
2月19日	19	0	
2月20日	6	0	

2月21日	3	0	飛散開始の定義は二日続けて1個/cm ² 以上飛散した最初の日と定義されています。17日と19日は1日だけです。飛散開始にはなりません。
2月22日	8	0	27日以降は最高気温が高いため飛散開始と第1にピークが来ると予測されます。
2月23日	1	1	飛散開始日（本日から個/cm²）表示となります
2月24日	3	4	
2月25日	0	4	
2月26日	1	5	
2月27日	1	6	
2月28日	33	39	第1のピークです。3月6日の週は前の週の10倍程度の大量飛散が予測されます。未治療の患者さんは一気に症状が重症化されます。
3月1日	122	161	
3月2日	6	167	五橋は2月28日が飛散開始日となりました。
3月3日	10	177	3月20日の週が最大の飛散のピークになると考えられます。
3月4日	7	184	
3月5日	150	334	
3月6日	187	521	
3月7日	717	1,238	気温の上昇に伴い急激に飛散数が増えました。まだ飛散数は10分の1程度と見られます。
3月8日	884	2,122	
3月9日	646	2,768	五橋では観測史上最高の2,902個の超大量飛散となりました。初期治療を行っていない方は日常生活にかなり支障を及ぼすほど症状が重症化しています。
3月10日	505	3,273	
3月11日	749	4,022	五橋では総飛散数が6,000個を超え昨年の飛散数を上回りました。泉でも毎日大量の飛散が続いています。最高気温が高い日が続いているので一気に大量の花粉が飛散し、今年の飛散期間は短くなるかもしれません。
3月12日	551	4,573	この大量飛散で飛散数は3分の1が経過したと見られます。まだ3分の2が残っていますのでまだまだ注意が必要です。
3月13日	366	4,939	
3月14日	109	5,048	連日重症の患者さんが受診しています。ある程度眠気があっても効果が強い薬を希望される患者さんには、ザイザル、ルパフィンの倍量投与が有効です。症状が落ち着いたら、通常量に戻します。
3月15日	200	5,248	
3月16日	890	6,138	気温の上昇に伴い、連日大量の花粉。飛散しています。飛散開始から3週間が経過し飛散数、飛散期間とも半分が過ぎ折り返しとなりました。
3月17日	362	6,500	3月上旬にゾレアを皮下注射した方はほぼ無症状で経過しています。
3月18日	77	6,577	朝からの雪やみぞれで雄花が影響を受け、今後は飛散数が予測よりやや減少しそうです。
3月19日	137	6,714	毎年8～9回ピークを認めますがこの時点で5回のピークが終了しました。今後はゆっくりと収束に向かっていきます。
3月20日	166	6,880	花粉数が100個でも症状が重症化するには十分な量です。今月いっぱいには未治療の重症新患者さんが受診するでしょう。
3月21日	423	7,303	
3月22日	84	7,387	
3月23日	82	7,469	
3月24日	149	7,618	五橋では飛散数が10,000個を超えました。過去最高です。
3月25日	7	7,625	
3月26日	62	7,687	桜が咲き始めました。満開となり葉桜になるとスギ花粉飛散は終わりますので、あと2～3週間でしょう。
3月27日	161	7,848	
3月28日	92	7,940	ヒノキ花粉の飛散が始まりました。近年スギ花粉陽性者でヒノキ花粉に反応する方がかなり増えました。ヒノキ陽性の方は連休前まで症状が続きます。
3月29日	71	8,011	
3月30日	114	8,125	桜が満開となり葉桜になると、スギ花粉の飛散は終了に向かいます。
3月31日	94	8,219	

4月1日	53	8,272	スギ花粉は4月中旬ごろに飛散が終わる見込みです。
4月2日	9	8,281	
4月3日	10	8,291	今年はヒノキ飛散も連日大量に飛散しています。
4月4日	14	8,305	スギ花粉よりもヒノキ花粉の方が症状が強くなる方がいますので、注意が必要です。
4月5日	47	8,352	今年 のヒノキの雄花の状況です。
4月6日	73	8,425	
4月7日	42	8,467	30年ほど前はヒノキ花粉合併例は少なかったのですが、近年は明らかに増加してきました。
4月8日	24	8,491	
4月9日	11	8,502	小児のヒノキ合併例も増えてきてます。80歳ごろまでは花粉の症状は続きますので、小児は今後70年以上毎年春先に症状が続くことになります。
4月10日	64	8,566	
4月11日	82	8,648	政府もスギ花粉対策に本腰を入れ始めました。耳鼻科医が率先して治療しましょう。
4月12日			
4月13日			
4月14日			
4月15日			
4月16日			
4月17日			

青い文字をクリック

2023年東北大学屋上で測定したスギ花粉日算数を提供いたします。

飛散開始日までは、何個 / 14.4cm³で表示いたしますが（ひとつのスライドガラスに何個乗っているか）、2月後半の飛散開始日以後は何個 / cm³の表示になります。

2023年スギ花粉飛散状況

初観測日 1月13日